

総務委員会協議事項及び議事の経過案

1. 開催日時 2026年3月12日(木) 13:00~14:30
2. 開催場所 ハイブリッド形式(3階 大会議室)
3. 出席者 星野担当副理事長
金委員長(和歌山) 正副委員長(鹿児島)
李委員(茨城) 朴委員(新潟) 星山委員(愛知)
野口委員(大阪) 岩田委員(大分)

- 【リモート】 千原担当副理事長
森山副委員長(群馬) 松岡委員(秋田) 鶴丸委員(大阪)
山田委員(福岡)

太田専務理事 松谷事務局長 浅井事務局次長
齊藤渉外部長 中村総務課長 腰高総務課長補佐
成田総務課員 松澤渉外課員

4. 議事

(1) 常設委員会の増設について

星野副理事長から、「阿部理事長から『2030年のIR開業を見据えると、ギャンブル等依存問題への対応をより強化していくべきだと考えている。あわせて、これまで同問題に長年携わってきた西村先生がリカバリーサポート・ネットワークを離れ、今後は業界が主体となって取り組む体制を整える必要があることから、当該問題に特化した新たな常設委員会を設置したい。』との提案があった。新たな常設委員会の設置について、執行部会及び全国理事会で諮りたい。」

との説明があり、協議の結果、常設委員会の増設について執行部会に上程することとした。

(2) 2026年度総務委員会事業内容(案)について

事務局から、資料に基づき、2025年度の総括を行った後、2026年度総務委員会事業内容(案)について説明があり、協議の結果、以下の8項目とした。

①組織運営の充実、強化

- 全日遊連組織の効率的運営
- 各都道府県組合との緊密な連携
- 依存問題を担当する常設委員会の設置に係る検討
- 非組合員の加入促進対策の検討

②組合員との連帯強化

- 組合員専用ウェブサイトによるタイムリーな情報発信及び情報収集
- 機関誌『遊報』の更なる内容の充実

③パチンコ・パチスロ依存問題対策の推進

- IR開業を見据えた取組全般の強化
- 新たなギャンブル等依存症対策推進基本計画の周知と取組の実践

- 根拠に基づく知見の内外への発信
- リカバリーサポート・ネットワークへの支援の継続
- 安心パチンコ・パチスロードバイザーの拡大及び講習会受講の促進
- 全従業員に対する「パチンコ・パチスロ依存問題基礎講座」の受講の徹底
- ④社会貢献活動の検討
 - 地域密着型の社会貢献の推進
 - 「パチンコ店が街にあってよかった」と言われるコミュニティづくりの推進
 - 災害時における自治体等との協定締結の促進及び社会への周知
 - 被災地の復興に向けた支援活動の推進
 - 社会貢献事業の在り方の検討
- ⑤広報活動の充実、強化
 - 遊技産業に関する戦略的な広報の検討・実施
 - 安心娯楽としての広報及びオンラインカジノ等違法賭博の被害防止活動の推進
 - 報道等に対する適切な対応
- ⑥子ども虐待防止の取組推進
 - ホール駐車場等における子どもの事故根絶
 - オレンジリボン運動への支援
- ⑦業界における障がい者雇用施策の促進
- ⑧各都道府県組合における研修会等の効果的な推進

(3) 2026年度総務委員会関係予算案について

事務局から、資料に基づき 2026年度総務委員会関係予算案について説明があり、協議の結果、原案を了承した。

(4) 2026年度の「ホールにおける子どもの事故防止対策」について

事務局から、資料に基づき、「全日遊連では、ホール駐車場における子どもの事故防止活動の通年の取組みとして、組合員ホールに対し駐車場の巡回等徹底を再要請している。2026年度についても、ゴールデンウィーク連休前から10月までを「強化期間」、7月と8月の2ヶ月間を「特別強化期間」と位置づける他、3月下旬、GW前、6月下旬、8月下旬、12月初旬にも注意喚起文書を発出する。」

との報告があった。

(5) 社会貢献活動等の今後のあり方について

事務局から、資料に基づき、前回の総務委員会で委員から出された、社会貢献機構のあり方等に関する意見を紹介した。

続いて星野副理事長から、「社会貢献機構が行っている『社会貢献大賞』の名称を『パチンコ・パチスロ社会貢献大賞』に変更した。加えて、犯罪被害者支援団体に100万円を寄付するよう要請した。組織の在り方そのものについては、理事には社会的に重責を担う者も多いことから直ちに大きく変更することは容易でないが、状況を踏まえつつ、出来る部分から段階的に対応していくことを考えている。」との報告があり意見交換を行った。

以上

《次回の総務委員会は、2026年4月7日（火）に開催する。》